

令和4年度シラバス（公民）

教科（科目）	公民（倫理）	単位数	2 単位	学年（系）	3 学年（文系）
使用教科書	実教出版「高校倫理」				
副教材等	第一学習社「最新 倫理資料集新版初訂」 実教出版「高校倫理《新訂版》演習ノート」				

1 学習目標

人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念に基づいて、青年期における自己形成と人間としての在り方や生き方についての理解と思索を深めさせ、人格形成につとめる意欲を高め、他者と共に生きる主体としての自己の確立を促し、良識ある公民としての必要な能力と態度を育てる。

2 指導の重点

- ・毎時の授業のはじめに学習の狙いを示すことで、積極的に学習活動に臨む姿勢を養う。
- ・現状や問題点を論理的に思考する「公民的思考力」が身につくことに重点を置いた指導を行う。

3 学習計画（1 単位時間：55分）

月	単元名	教材	学習活動	時間	評価方法	
4 5	第1編 青年期の課題と 人間の自覚	第1章 青年期の課題と自己形成 第2章 人間としての自覚	・青年期の意義と課題について理解する。 ・ギリシア思想、キリスト教、イスラーム教について理解する。	10	第1学期中間考査 授業の取り組み	
6 7		第3章 日本人としての自覚	・仏教、中国思想、芸術と人生について理解する。 ・古代日本人の思想、日本の仏教について理解する。 ・近世日本の思想、西洋思想の受容と展開について理解する。	15		第1学期期末考査 授業の取り組み
8 9 10 11 12		第1章 現代の特質と倫理的課題 第2章 現代に生きる人間の倫理	・科学技術の発達と現代文明の危機、民主主義と国際化の課題、人間としての課題について考察する。 ・人間の尊厳、科学技術と人間、民主社会と自由の実現、社会と自己、人間への新たな問い、社会参加と幸福について考察する。	15		
1・2 ・3	第3章 現代の諸課題と倫理	・生命の倫理、環境の倫理、家族・地域社会の課題、高度情報化社会の課題、異文化理解の課題、人類の福祉と平和の課題について考察する。	14 10	第2学期期末考査 授業の取り組み		

計 64 時間（55 分授業）

4 課題・提出物等

必要に応じて指示する。

5 評価規準と評価方法

評価は次の4観点から行います。

① 関心・意欲・態度	② 思考・判断・表現	③ 資料活用の技能	④ 知識・理解
・授業に集中して取り組み、理解しようと努めている。	倫理分野における事象を社会や自己にひきかえ捉えることができる。	・資料集の原典の文章を実際に読み理解し、その言葉を使い自己の考えを表現できる。	・授業の内容を、きちんと理解し身につけている。
以上の観点を踏まえ、① 授業の取り組み（授業態度・学習活動への参加状況） ② 定期考査・小テスト ② 提出物 などから、総合的に評価します。			

6 担当者からの一言

自分や他人、人生や世界などについて様々なことを考え、自分で答えを出すのが倫理です。そのためには先人たちの思考を学び、他者の価値観を知る必要があります。自分らしい人生を生きるために倫理を学び、哲学しましょう。